リハビリテーション総合実施計画書

										計画部		1: 华	月	Ħ
患者氏	名:		男·女	生年月	月日(西暦))	年	月	日(歳)	利き手	右•右(知	喬正)・	左
主治医		リハ担当医		PT		OT		ST		看護		SW等		
診断名、	障害名(発症	· 定日、手術日、診	断日):	合併症	(コントロー	- -ル状態)	:		y.	ハビリテー	ーション歴:			
日常生活自立度: J1、J2、A1、A2、B1、B2、C1、C2 認知症						症高齢	者の日常	生活自	立度判定	基準: I	, Ⅱa, Ⅱb, I	Ша , Шb, IV,	M	
評価項目・内容 (コロン(:)の後ろに具体的内容を記入)						短其	朝目標	(<u></u> ケ	月後)	具	体的アプロ	ーチ		
□意識障害 (JCS、GCS):														

日 吊 生 伯 日 立 及 : J1、J2、A1、A2、B1、B2、C1、C2 認知 近 同 即 目 の 日 吊 生 伯 日 立 及 刊 足 葢 毕 . 1 , 11 ä, 11 b, 11 a, 11 a, 11 b, 11 a,								
評価項目・内容(コロン(:)の後ろに具体的内容を記入)						短期目標 (ヶ月後)	具体的アプローチ	
	□ 意識障害 (JC: □ 見部	系、GCS) 系: 系(構音、 限:): 、失語)	:		774 007		
	基 起き上がり(本 座位(動作 立ち上がり(立位(□自立□自立□自立□自立	Ĭ □─ 	部介助 [部介助 [部介助 [部介助 [□全介助):			
	ADL (B. I.)	自立	一部	全介助	使用用具(杖、装具)、介助内容	短期目標	具体的アプローチ	
	ADL (D. 1.)		介助	工/190	文川川六(人) 教六(人) 79月1日	<u> </u>	共体的 グローグ	
	食事	10	5	0				
	食事 移乗	10 15						
		15						
	移乗	15	10 ←	-監視下				
	移乗	15 V →	10 ← 5	-監視下 0				
活	移乗 座れるが移れな 整容	15 \\ →	10 ← 5	-監視下 0 0				
活動	移乗 座れるが移れな 整容 トル動作	15 5 10	10 ← 5 0 5	監視下 0 0 0	歩行:			
	移乗 座れるが移れな 整容 トル動作 入浴	15 5 10 5 15	10 ← 5 0 5 0	監視下 0 0 0	步行: 車椅子:			
	移乗 座れるが移れな 整容 トル動作 入浴 平地歩行	15 5 10 5 15	10 ← 5 0 5 0	-監視下 0 0 0 0 7 7 8 6				
	移乗 座れるが移れな 整容 トル動作 入浴 平地歩行 車椅子操作が可	15 い→ 5 10 5 15	10 ← 5 0 5 0 10←歩 → 5	-監視下 0 0 0 0 7 5 7 8 9				
	移乗 座れるが移れな 整容 トル動作 入浴 平地歩行 車椅子操作が可	15 い→ 5 10 5 15 15	10 ← 5 0 5 0 10←歩 → 5	-監視下 0 0 0 0 行器等 0				
	移乗 座れるが移れな 整容 トル動作 入浴 平地歩行 車椅子操作が可 階段 更衣	15 10 5 15 15 能 10	10 ← 5 0 5 0 10← 5 5 5 5	-監視下 0 0 0 7 7 7 8 0 0				
	移乗 座れるが移れな 整容 トル動作 入浴 平地歩行 車椅子操作が可 階段 更衣 排便管理	15 10 5 15 15 16 10	$ \begin{array}{c} 10 \leftarrow \\ 5 \\ 0 \\ 5 \\ 0 \\ 10 \leftarrow \\ 5 \\ 5 \\ 5 \\ 5 \end{array} $	-監視下 0 0 0 7 7 7 8 0 0 0				
	移乗	15 10 5 15 15 16 10	10 ← 5 0 5 0 10←歩 5 5 5 5	-監視下 0 0 0 0 7 7 7 8 0 0 0 0				

	評価	短期目標	具体的アプローチ
	職業(□無職、□病欠中、□休職中、	退院先(□自宅、□親族宅、□医療機関、	
	□発症後退職、□退職予定)	□その他)	
	職種·業種·仕事内容:	復職 (□現職復帰、□転職、□配置転換、□復職不可、□その他)	
	経済状況:	復職時期: 仕事内容:	
	社会参加(内容、頻度等):	通勤方法:	
	余暇活動(内容、頻度等):	家庭内役割: 社会活動:	
	<u>ь</u> Ен /	趣味:	
	身長 [#] : ()cm、体重: ()kg、 BMI ^{#1} : ()kg/m ² #1 身長測定が困難な場合は省略可	摂取栄養量:(目標: kcal) 体重増加/減量:(目標: kg)	
		中里坦/川/ 夾里. (口/宗. Kg/	
	□経口(□食事、□補助食品)	栄養補給方法(複数選択可):	
	□ 経管(□ 経鼻胃管 □ 胃瘻 □ その他)	□経口(□食事、□補助食品)	
	□静脈栄養(□末梢、□中心)	□経管栄養	
	嚥下調整食の必要性:	□静脈栄養(□末梢、□中心)	
	□無、□有(学会分類コード:) 栄養状態:	その他:	
	・	で <i>V</i> 7担。	
栄養	判定□ 低栄養非該当		
※ 1	□ 低栄養(□ 中等度低栄養、□ 重度低栄養)		
	該当項目表現型(□体重減少、□低BMI、□筋肉量減少) 病因(□食事摂取量減少/消化吸収能低下、□疾病負荷/炎症)		
	② GLM 基準以外の評価:		
	□ 問題なし □ 過栄養 □ その他()		
	【上記①「低栄養非該当」かつ②「問題なし」以外に該当した		
	場合、以下も記入】 必要栄養量: ()kcal、たんぱく質()g		
	総摂取栄養量 ^{#2} (経口・経管・静脈全で含む):		
	()kcal、たんぱく質()g		
	#2 入院直後等で不明な場合は総提供栄養量でも可		
	義歯の使用: □あり □なし 歯肉の腫れ、出血: □あり □なし		
口腔	歯の汚れ:□あり□なし		
※ 2	左右両方の奥歯でしっかりかみしめられる:		
	□できない、□できる		
	抑うつ:		
心理	障害の否認:		
	その他:		
		L	
	同居家族:	自宅改造 □不要、□要:	
	親族関係:	福祉機器	
		□不要、□要:	
環境	家屋:	社会保障サービス	
	家屋周囲:	□不要、□身障手帳、□障害年金 □その他:	
	本'字子切。	介護保険サービス	
	交通手段:	□不要、□要:	
	発病による家族の変化	退院後の主介護者	
	社会生活:	□不要、□要:	
第三	健康上の問題の発生:	家族構成の変化 □不要、□要:	
者の		家族内役割の変化	
不利	心理的問題の発生:	□不要、□要:	
		家族の社会活動変化	
1 과 日	後の目標:	□不要、□要: 本人の希望:	
1刀月 	1200日伝・	一个八ツ巾主・	
		家族の希望:	

リハビリテーションの治療方針:	外泊訓練計画:
退院時の目標と見込み時期:	
退院後のリハビリテーション計画 (種類・頻度・期間):	
退院後の社会参加の見込み:	説明者署名:
本人・家族への説明: 年 月 日 説明を受けた人:本人、家族()署名:

(リハビリテーション実施計画書及びリハビリテーション総合実施計画書記入上の注意)

- 1. 日常生活自立度の欄については、「「障害老人の日常生活自立度(寝たきり度)判定基準」の活用について」(平成3年1 1月18日 老健第102-2号)厚生省大臣官房老人保健福祉部長通知によるランクJ1, J2, A1, A2, B1, B2, C1又はC2 に該当するものであること。
- 2. 認知症高齢者の日常生活自立度判定基準の欄については、「「認知症高齢者の日常生活自立度判定基準」の活用について」(平成5年 10 月 26 日 老健第 135 号)厚生省老人保健福祉局長通知によるランク I, II a, II b, III a, III b, IV 又は Mに該当するものであること。
- 3. 活動の欄におけるADLの評価に関しては、Barthel Index に代えてFIMを用いてもよい。
- ※1 回復期リハビリテーション病棟入院料1を算定する場合は、「栄養」欄も必ず記入のこと(本計画書上段に管理栄養士の氏名も記入)
- ※2 回復期リハビリテーション病棟入院料1・2を算定する場合は、「口腔」欄も必ず記入のこと